



初期設定マニュアル Ver2.0

本マニュアルを参照しても初期設定がご不明の場合、
マニュアルと利用中のPCをお手元にご用意の上、
下記ご連絡までお問合せください。

TEL : 0120-275888

ご連絡先：株式会社コスト削減グループ

ネオ・クイックコールプロ：システム担当

営業時間：平日09:00～18:30

はじめに

本手順書では、初期設定の際に必要なカスタマイズについて解説しています。

管理者画面の詳細な仕様、操作方法については「ネオ・クイックコール管理者用操作マニュアル」、

オペレーターの利用方法については「ネオ・クイックコールプロOP作業操作マニュアル」を別途参照ください。

目次

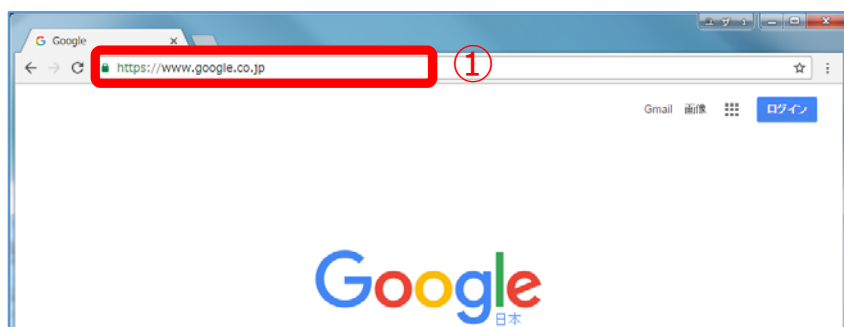
<u>1.管理者画面にログインする</u>	3
<u>2. デバイス(ヘッドセット等)を設定する</u>	4
<u>3.利用ユーザー作成する</u>	5
<u>4.OPの画面に表示する項目を作成する</u>	6
<u>5.リスト名を登録する</u>	8
<u>6.CSVデータの準備をする</u>	9
<u>7.リストをインポートする</u>	10
<u>8.リストの割当を行う</u>	11
<u>9.架電を開始する</u>	12

※カスタマイズは「**1.管理者画面にログインする**」から
「**9.架電を開始する**」まで順番に行って下さい。

1. 管理者画面にログインする

- ・ ご納品したメール内にある添付ファイル「NQCpro提供URL」から、管理者画面へログインします。

● Google Chromeの起動



- Google Chromeを起動し、アドレスバーに指定のURLを入力(貼り付け)する。

※検索枠ではなく、①のアドレスバーに入力してください。

※Google Chromeを未インストールの場合、下記URLよりインストールを行ってください。

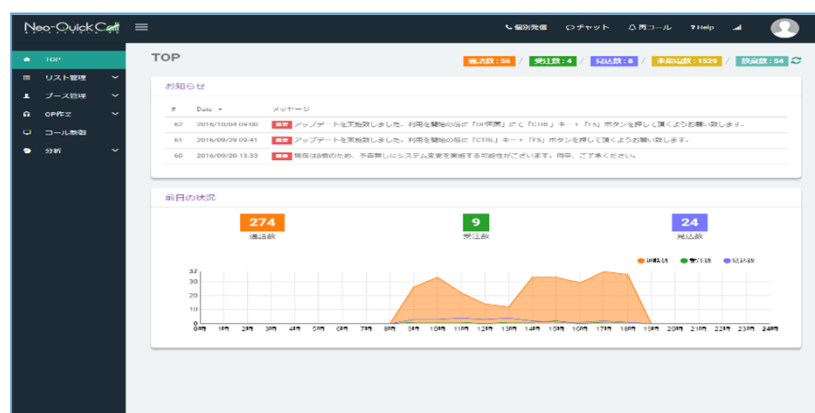
<https://www.google.co.jp/chrome>

● ログイン画面



- NQCpro提供URL内にあるユーザIDとパスワードを②に入力し、ログインを行います。

● TOP画面

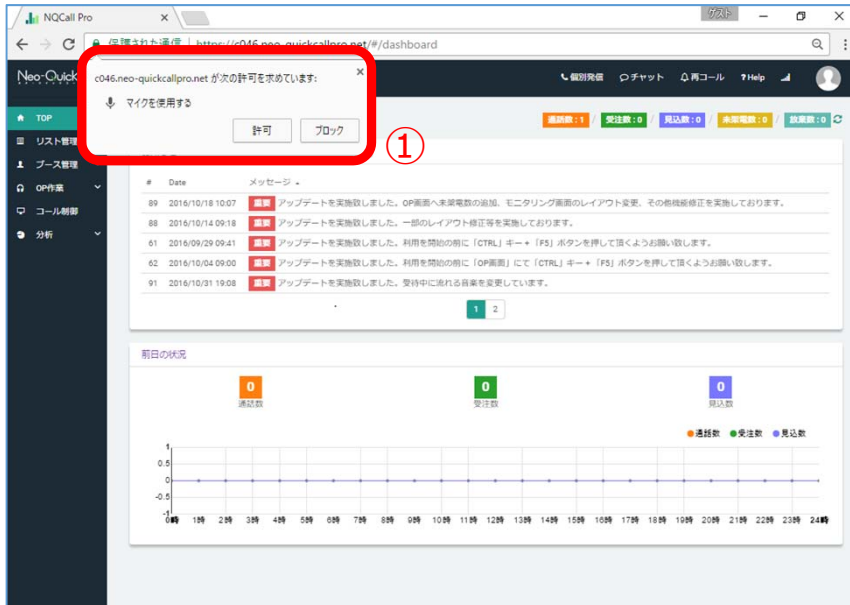


- ログイン後、TOP画面が表示されれば完了です。

Check!  **■ブラウザは必ずGoogle Chromeを利用して**
ください

2. デバイス(ヘッドセット等)を設定する

- ・管理者画面にログインしたら、利用するマイク使用を許可して下さい。



●初回ログイン時に①のようなポップアップ画面が表示されます。システムでは、音声及びマイクを使用するため、必ず「許可」をご選択頂くようお願い致します。

Check! 

■ 本手順はオペレーター用PCでも実施する必要があります。

オペレーターの場合「3.利用ユーザーを作成する」項目で作成するオペレータ用IDでログイン後、本手順を実施してください。

本設定を行わないと、正常に通話が出来ません。

3.利用ユーザー作成する

- 画面左側の各種機能項目(以下、管理者メニュー)から「ブース管理」→「ユーザー情報」を選択し、ユーザーの作成を行います。

●ユーザー情報画面

ユーザー情報

選択ユーザー

名前	admin
フリガナ	テスト
ログインID	testAccount
パスワード	
所属	Default所属
ブース	ブース10002
クラス	
表示機能	

① 新規/修正

② 新規

●①「新規/修正」をクリックすると、現在ログイン中のユーザー情報が表示されます。パスワード等の変更が必要な場合は、この画面変更を行い、「保存」をクリックしてください。

変更がない場合は、そのまま
②「新規」をクリックします。

●新規ユーザー作成画面

選択ユーザー

③ 名前	
④ フリガナ	
⑤ ログインID	
⑥ パスワード	
⑦ 所属設定	選択▼
⑧ ブース	選択▼
⑨ クラス	OP詳細
⑩ 表示機能	詳細

新規 削除 強制ログアウト キャンセル 保存

●利用するユーザーの情報を入力して「保存」をクリックします。

各種項目説明

- ③：名前を入力
- ④：フリガナを入力
- ⑤：ログインに使用するID
- ⑥：ログインに使用するパスワード
- ⑦：オペレーターグループを選択する。特に必要ない場合は、「Default所属」を選択する。
- ⑧：架電機能を持たせる場合、ブースを選択する。
- ⑨：OP(オペレーター)かMG(管理者)を選択する。個別に設定も可能です。
- ⑩：架電画面の表示制限を行います。特に必要ない場合は、設定不要です。

※一部項目には必須条件(半角英数のみ等)がありますので、画面に従って入力してください。

全て入力が完了したら、
保存をクリック
次ページへ続く

3-2. 架電グループ分けを行う(架電グループが複数の場合のみ)

※本設定は架電グループを複数契約頂いた場合のみ必要な設定です。「ユーザー情報」画面が本ページの画面と異なる場合、本ページの設定は不要です。

●ユーザー情報画面

ユーザー情報

選択ユーザー

名前	admin
フリガナ	テスト
ログインID	testAccount
パスワード	
所属	Default所属
ブース	ブース10002 [架電グループ]
クラス	
表示/編集	

ユーザーリスト [契約ブース数: 2]

名前	所属	クラス	ブース	ブースグループ
admin	Default所属	CP	ブース10002	架電グループ

ブースリスト [ブース数: 1]

#	表示名	ブースグループ
1	ブース10002	架電グループ

架電グループリスト [契約CH数: 1]

#	表示名	CH数	ブース数	修正
1	架電グループ	1	1ブース	修正
2	架電グループ	1	1ブース	修正

●①複数の架電グループをご契約頂いた場合、「ユーザー情報」画面に①のように表示されます。

●②には現在ご契約頂いているCH数が表示されます。

③の修正ボタンから各架電グループのCH数を設定します。グループ名を変更する事も可能です。設定完了後は「保存」を押下してください。

※架電グループ毎に設定したCH合計が②のCH数を越えるとエラーになります。

●上記CH数の設定完了後、架電グループ枠をクリックします。

※「架電グループ設定画面」右側の黄色で表示されている箇所となります。クリックすると黄色で表示されます。

画面左側に選択した架電グループに所属するブースリストが表示されます。

特定のブースを別の架電グループへ変更する場合、④の修正ボタンから、ブースグループを変更します。

●架電グループ設定画面

ブースリスト [ブース数: 2]

#	表示名	ブースグループ	修正
1	ブース10002	架電グループ	修正
2	ブース10003	架電グループ	修正

架電グループリスト [契約CH数: 1]

#	表示名	CH数	ブース数	修正
1	架電グループ	1	2ブース	修正
2	架電グループ2	1	0ブース	修正

架電グループに所属する
ブースを決定する

4. OPの画面に表示する項目を作成する

- ・管理者メニュー「ブース管理」 → 「OP画面表示」からオペレーター画面にて利用する項目を作成します。

●OPに表示する画面を設定

	A	B	C	D	E	F	G
1	電話番号	番号	架電先	顧客番号	郵便番号	住所	FAX
2	092-433-3888	株式会社コスト	10001	812-0013	福岡市博多	092-433-8388	

●OP架電画面

#	日時	オペレーター	ステータス	メモ	通話回数
---	----	--------	-------	----	------

上図で設定した項目が、OPの架電画面に反映されます

次ページへ続く

- OP画面に表示させる項目を設定します。

①フリーシート設定

お客様ご用意のリスト項目をOP画面に表示させるための設定になります。保有しているリスト内の項目で、OPの画面にも表示させたい項目を設定します。
(例：住所、メールアドレス等)

「修正」をクリックし、項目変更後「保存」をクリックします。

※電話番号、架電先名、郵便番号、顧客番号はシステムで標準設定されているため、作成不要です。

②フリー（分析用）設定

詳細な分析に使用する項目を設定します。本項目を設定する場合、リスト変更が必要となる場合があります。リストインポートの必須項目ではありませんので不明な場合、飛ばして問題ありません。設定する場合は、分析したい項目を設定し、お持ちのリストも同じように加工して頂く必要があります。

(例：タイトルを「地域」で設定し、中身の項目を「東京」で設定した場合、リストの方にも列を追加し、タイトルが地域で同じように作成する)

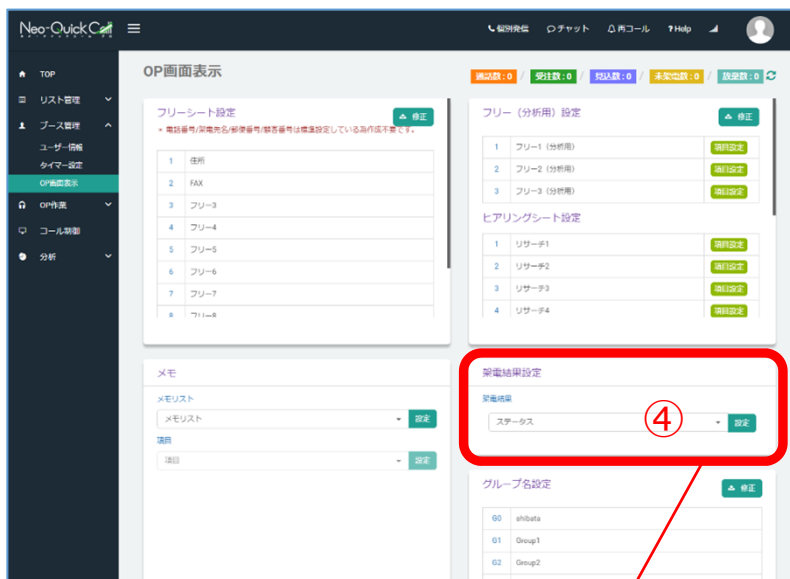
③ヒアリングシート設定

事前に特定の内容をドロップダウンリストとして設定する事で、OPの入力作業をサポートする機能です。フリーシートと同様に、「修正」をクリックの後、タイトル変更後「保存」をクリックします。さらに設定した項目の「項目設定」をクリックしドロップダウンリストの項目を追加します。

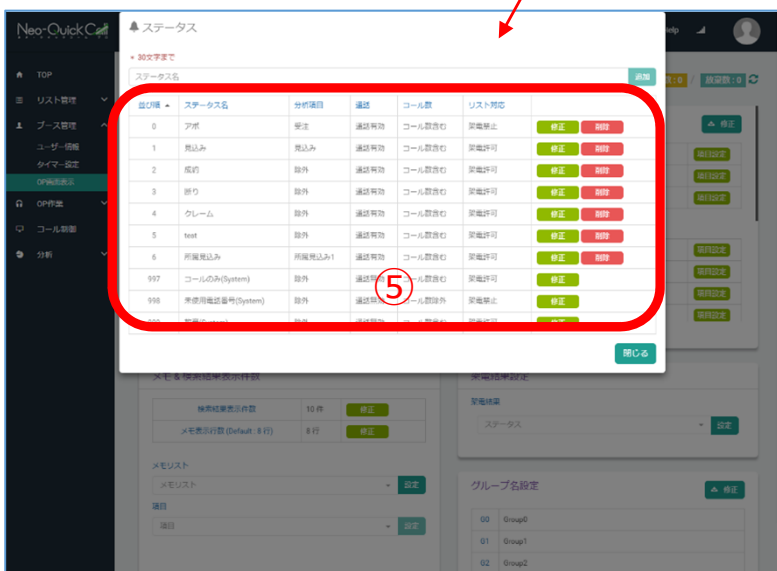
4-2.OPの画面に表示する項目を作成する

- ・ 管理者メニュー「ブース管理」 → 「OP画面表示」 からオペレーター画面にて利用する項目を作成します。

●OPに表示する画面を設定



●架電結果画面



- OP画面に表示させる項目を設定します。

④架電結果設定

OPが架電後に選択する、結果項目を作成します。

「設定」をクリックし、追加するステータスを入力後、「追加」をクリックします。

⑤ステータス詳細設定

ステータスに対する分析の設定や架電禁止の設定を行います。

下記を参考に設定を行ってください。

変更は「修正」をクリックし、各項目設定後、「保存」をクリックで完了です。

分析項目

- ・ **受注**
分析の受注数にカウントします。
また、OP選択時に通知を行います。
- ・ **見込み**
分析の個人見込数にカウントします。
また、OP選択時にOP独自のリストとして管理します。
- ・ **所属見込み1/2**
分析の所属見込数にカウントします。
また、OP選択時に所属内で共有する見込みとして管理します。
- ・ **除外**
上記以外の通常ステータスに設定します。

通話

- ・ **通話有効**
分析の通話数にカウントします。
- ・ **通話無効**
分析の通話数にカウントを行いません。

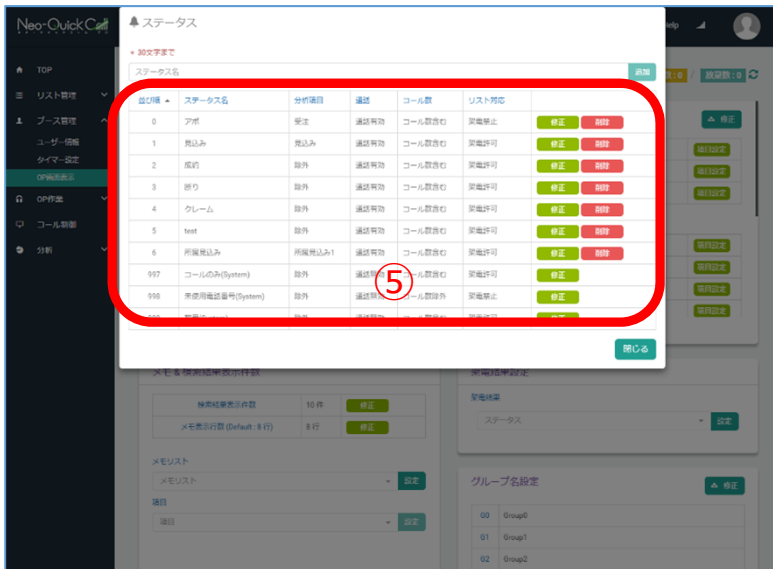
次ページへ続く

次ページへ続く

4-3.OPの画面に表示する項目を作成する

- ・管理者メニュー「ブース管理」 → 「OP画面表示」 からオペレーター画面にて利用する項目を作成します。

● 架電結果画面



- OP画面に表示させる項目を設定します。

⑤ステータス詳細設定
(前ページの続き)

コール数

- ・ **コール数含む**
分析の総コール数にカウントします。
- ・ **コール数除外**
分析の総コール数にカウントを行いません。

リスト対応

- ・ **架電許可**
現在のリストの架電規制を変更しません。
- ・ **架電禁止**
OP選択時に現在のリストを今後架電出来ないようにします。

5. リスト名を登録する

- ・ 管理者メニュー「リスト管理」 → 「リスト名登録」 から
リスト名の登録を行います。

● リスト名登録画面

● 投入するリスト名の登録を行います。

① リスト名の登録

①にリスト名を入力し、「登録」をクリックします。

登録するリスト名に特に指定はありませんが、検索時や割当に利用する事が可能なため、分かりやすい名称を推奨しております。

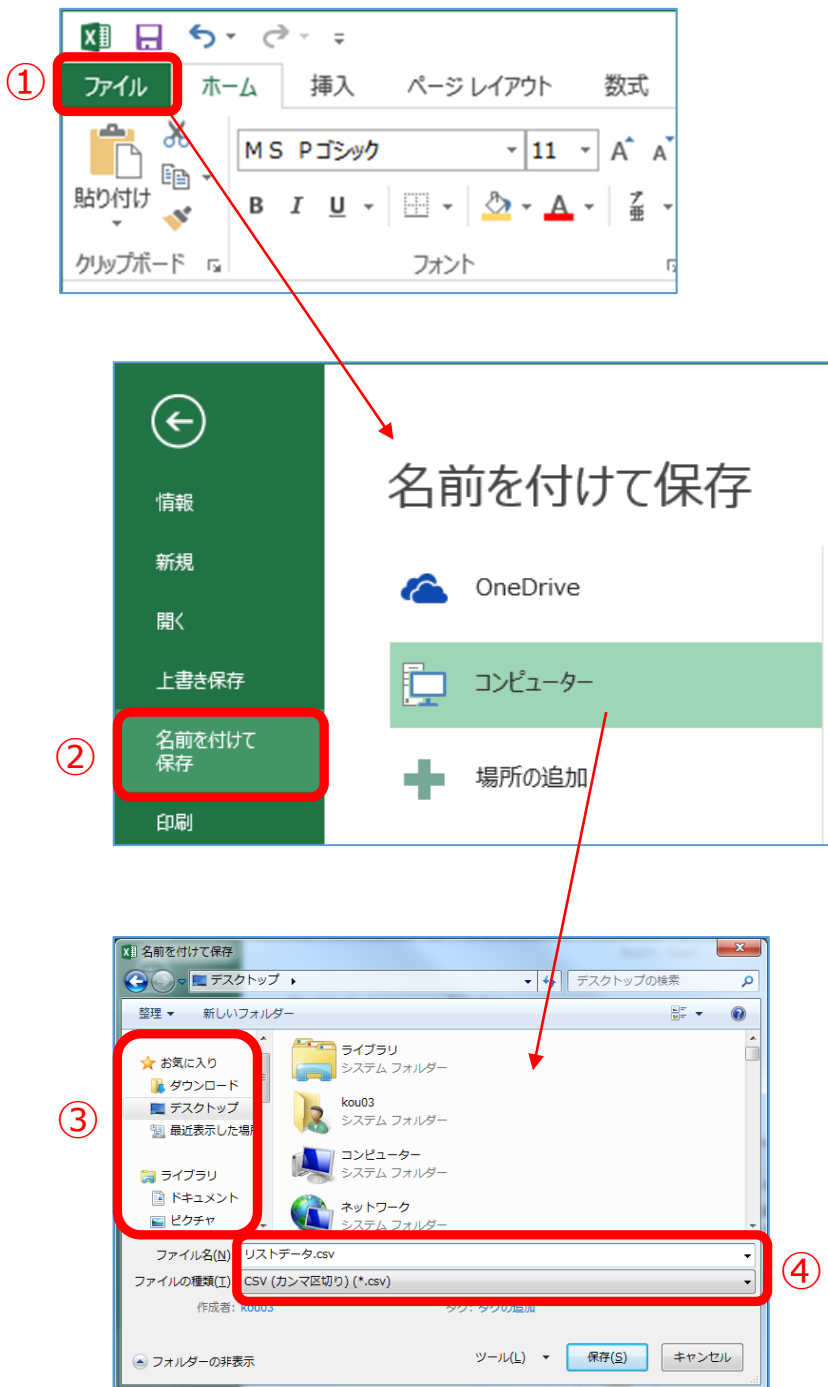
リストインポート時にリスト名を選択するため、リスト毎に一つのリスト名ではなく、同じリスト名に複数のリストを投入する事も可能です。

6. CSVデータの準備をする

- ・システム内に投入するリストの準備を行います。

●リスト名登録画面

※EXCELのバージョンによって表示が異なります。



●投入するリストをCSV形式に変更します。

※すでにCSV形式になっている場合、本作業は必要はありません。

投入する予定のリストを開き、
①のファイルを選択します。

②の名前を付けて保存を選択後、
コンピューターを選択します。

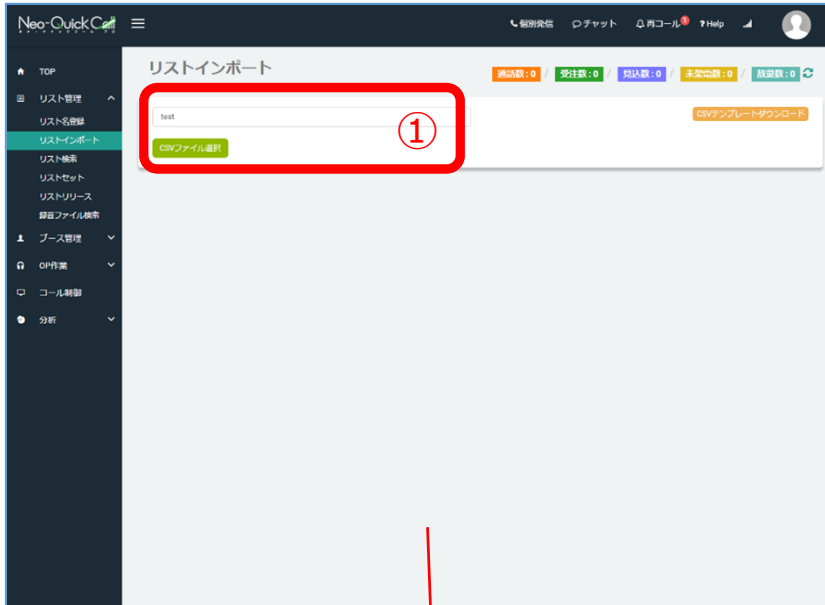
名前を付けて保存のポップアップ画面が表示されますので、③から保存する場所を選択します。
(デスクトップ等、分かりやすい場所を推奨しております)

④のファイル名入力し、ファイルの種類を「CSV(カンマ区切り)」に設定し保存してください。

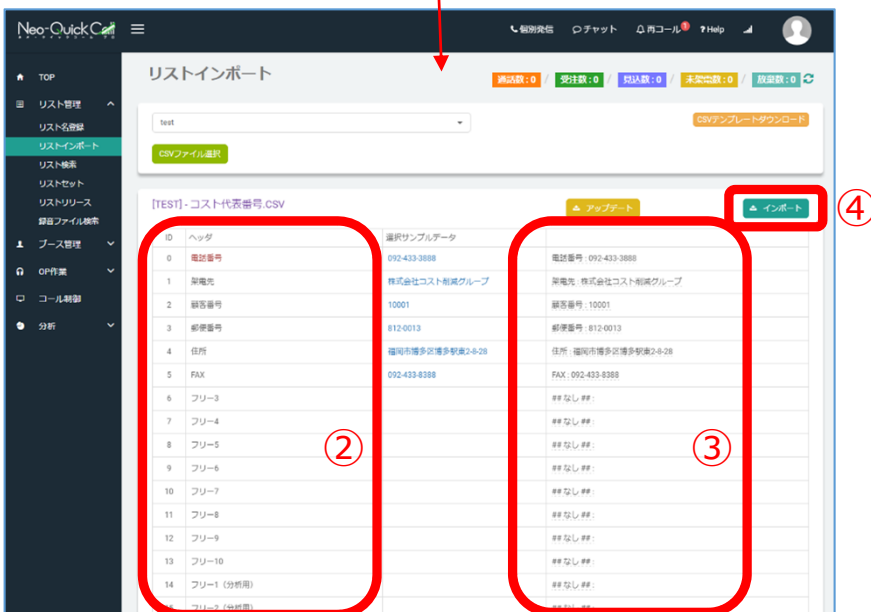
7. リストをインポートする

- ・ 管理者メニュー「リスト管理」 → 「リストインポート」からリストのインポートを行います。

● リストインポート画面



● 項目合わせ画面



- リストのインポートを行います。

①から「**5. リスト名を登録する**」にて作成を行ったリスト名を選択します。
その後、「CSVファイル選択」をクリックし、「**6. CSVデータの準備をする**」にて用意したリストを選択します。

上記の作業が完了すると左下図の項目を合わせる画面が表示されます。

②の箇所がシステム側で作成した項目、③の箇所がインポートするリストの先頭行が表示されます。
それぞれ作成した項目に対し、インポートするリストのタイトルをマッチングさせ、すべて完了後に④のインポートをクリックします。

Check!

■ リストやシステム設定に誤りがあった場合、下記のようなエラーが表示されます。エラーリストダウンロードをクリックし先頭列(EXCELの場合、A列)のエラー内容を確認してください。

エラーリスト [NG: 1件]

エラーリストダウンロード

8. リストの割当を行う

- ・ 管理者メニュー「リスト管理」 → 「リストセット」 から
リストの割当を行います。

● リストセット画面

● インポートしたリストの割当を行います。


①の箇所にて割当するリストの条件設定を行います。
(例：本日インポートとしたリストを割当する場合、左図のように「作成日」に✓を入れ「開始日」と「終了日」に本日の日付を設定する)

②の条件検索をクリック

③の箇所に①で設定した条件にヒットする件数が表示され、下部にはリスト名毎の総件数と、現在のグループセット件数が表示されます。

セットする件数を変更し、④からグループを選択し、「グループセット」をクリックします。
グループはどこに割当をして頂いても構いませんが、通常は「Group0」をご利用下さい。

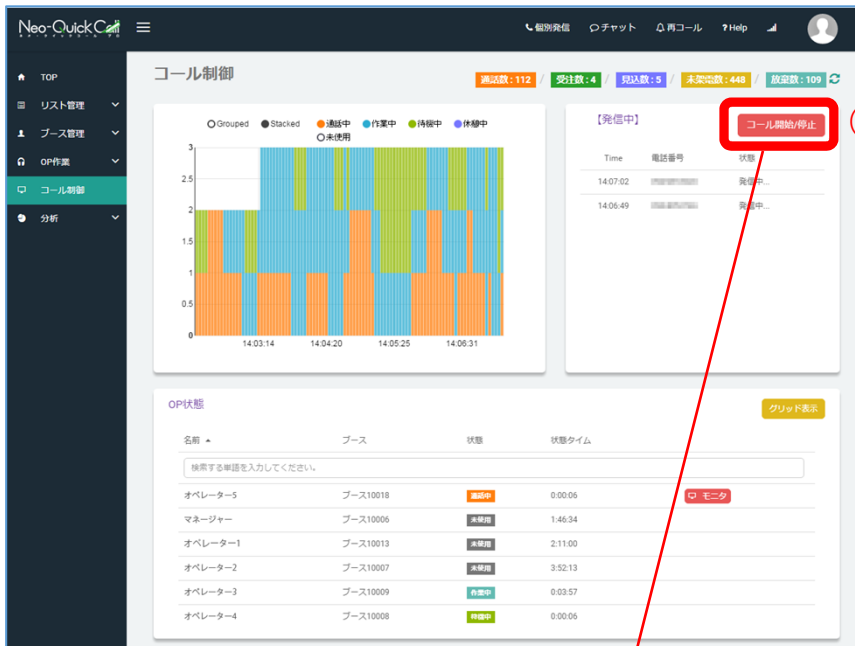
※割当の際、「電話番号順」はリスト内の電話番号順にリストをセットし、「インポート順」はリストをインポートした時の順番でリストをセットします。

Check!  **■ リストの割当を行わないとプレディクティブコールを開始する事は出来ません。**
必ず上記作業を行ってください。

9. 架電を開始する

- これまでの項目で、システム内の準備は完了です。
ここでは、架電開始時の手順について解説します
管理者メニュー「コール制御」から架電の設定を行います。

●コール制御画面



●コール制御画面を開いたら①をクリックしコール開始/停止画面を開きます。

左下図のような画面が表示されますので、下記を参考に設定を行って下さい。

②電話発信する番号を選択します

③発信する電話のコール数を決定します。
待機中(OPが電話を待っている状態)のOP+○コールになりますので、例えばOPが3名で「+2」コールで設定した場合、最大発信本数は5コールとなります。

※特別な状態として、待機中のOPが0人の場合は、発信を行いません。
例えば、③の設定で+2コールを設定した場合、OPの待機数が「1」のであれば、3コールで架電を行います。待機数が「0」の場合は、0コールになります。

④ 上記③で設定した待機人数を超過した場合の発信設定です。
100%の場合は待機数と同じコール数、200%の場合は待機数の2倍で発信します。

④架電をするリストグループを選択します。


⑤呼び出しコールの秒数を設定します。

⑥発信停止か開始を選択します。

上記全ての設定が完了しましたら、⑦の「保存して閉じる」をクリックしてください。

●コール開始/停止画面

The screenshot shows the 'コール開始/停止画面' (Call Start/Stop Screen). At the top, it says '株式会社コスト削減グループ【ブース数: 7ブース】 / 【Ch数: 7 Ch】'. Below this is a form for setting call parameters. The form includes fields for 発信者番号, 待機中 + コール数, 上記待機数超過時コール倍率, グループ割当, 発信タイムアウト, and 発信 停止/開始. A red box highlights the '保存して閉じる' button, with a circled '8' next to it.

Check!  ■OP側では、「**2. デバイス(ヘッドセット等)**を設定する」を実施し、「**OP画面**」から「**受待**」をクリックすると、架電開始します。